

# 市議会だより

# GOJO

No.74

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会

令和2年(2020年)2月1日

(陀々堂の鬼走り 1月14日開催)



(篠原踊り)

1月第3日曜日開催)



(惣谷狂言)

1月25日開催)

## 令和元年五條市議会

### 第4回12月定例会の概要

令和元年五條市議会第4回12月定例会は、12月2日に開会、会期を19日までの18日間と決定し、初日に市長から市政の報告と提出議案の説明を受けました。

本定例会には、五條市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定、五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校の生徒の家族向け定住促進住宅設置条例の制定、五條市公平委員会委員の選任などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、11名の議員が一般質問を行うとともに、令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書などが提出され、それぞれ慎重審議を行い、12月17日に議事が全部終了し閉会いたしました。

#### 目次

議員紹介	2ページ
一般質問	3～13ページ
総務文教常任委員会の報告ほか	14ページ
厚生建設常任委員会の報告ほか	15ページ
表決結果と議決結果ほか	16～17ページ
委員会視察の報告ほか	18ページ



# 議員紹介

12月定例会では、議長・副議長の辞職に伴う選挙が行われ、投票の結果、議長に吉田雅範議員、副議長に養田全康議員が選ばれ、監査委員には、岩本孝議員が選任されました。

また、各所属委員会の役員構成も行われましたので、お知らせいたします。



議長  
吉田雅範  
67歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員

## 議長就任のごあいさつ

12月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の重責を担うことになりました。

もとより微力ではございますが、決意を新たに、円滑な議会運営と本市の更なる発展のため、全力を尽す所存でございます。今後とも議会運営にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
養田全康  
41歳

- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会副委員長
- ・厚生建設常任委員
- ・地域活性化及びインターネットチェンジ周辺整備特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



監査委員  
岩本 孝  
69歳

- ・議会広報編集委員会副委員長
- ・厚生建設常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員



伊谷賢司  
51歳

- ・地域活性化及びインターネットチェンジ周辺整備特別委員会委員長
- ・議会広報編集委員会委員長
- ・総務文教常任委員会副委員長
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員



平岡清司  
56歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



牧野雅一  
56歳

- ・総務文教常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・地域活性化及びインターネットチェンジ周辺整備特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・やまと広域環境衛生組合議会議員



吉田 正  
62歳

- ・厚生建設常任委員会委員長
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員長
- ・議会改革特別委員会副委員長



窪 佳秀  
67歳

- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・厚生建設常任委員会副委員長
- ・議会運営委員会副委員長
- ・議会改革特別委員会委員
- ・奈良県広域消防組合議会議員



福塚 実  
55歳

- ・議会運営委員会委員長
- ・地域活性化及びインターネットチェンジ周辺整備特別委員会副委員長
- ・厚生建設常任委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員



山口耕司  
64歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員
- ・南和広域医療企業団議会議員



藤富美恵子  
70歳

- ・議会改革特別委員会委員長
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会副委員長
- ・総務文教常任委員会委員
- ・地域活性化及びインターネットチェンジ周辺整備特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



大谷 龍雄  
73歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・地域活性化及びインターネットチェンジ周辺整備特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員



# 一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



窪 佳秀議員

## 防災行政について

**窪** 令和元年台風19号による教訓について伺う。

**危機管理監** 長野市に職員派遣を行い、避難所の開設及び運営、ハザードマップの周知徹底、ボランティアの受入体制、災害ごみの処理方法等の課題が教訓となった。

**窪** 教訓を今後に生かしてほしい。吉野川にある樋門樋管の開閉による内水氾濫の対策について伺う。

**危機管理監** 樋門操作は、吉野川の水が支流の河川に逆流した際に行い、操作をする場合は早めの避難を呼びかけていく。

**窪** 過去の樋門操作で近隣とのトラブルがあった。樋門操作の必要性和早めの避難が重要で、普段から啓もう・啓発が大切である。避難所での非常電源について伺う。

## 危機管理監 指定避難場所

53か所の内3か所は設備が整っている。簡易発電機を49台保管しており、有事の際に利用する。

**窪** 非常電源がある3か所の避難者と発電機の発電容量を普段から把握しておく必要がある。被災ごみの対策について伺う。

**危機管理監** 市内6か所に災害時被災物仮置き場を指定している。

**産業環境部長** やまとクリンパークにおいて、大規模災害時における焼却処理、能力不足分の確保については、仮設焼却施設の設置や県内外の支援要請により対処していく。

## 学校適正化の進捗状況について

**窪** 通学部会の進捗状況について伺う。

**教育部長** 中学校は野原・西吉野中学校は五條中学校

へ通学し、学校までの通学距離が6km以上がスクールバスを運行、それ以外は自転車か徒歩となる。小学校は現在の宇智小学校に阿太小学校の児童が通学し、学校から3km以上の通学はスクールバスの運行、それ以外は徒歩での通学となる。現在、スクールバスの経路、運行時刻等の計画を作成している。

**窪** 徒歩、自転車の通学者の安全対策について伺う。

**教育部長** 交通量調査や通学距離等の調査に基づき新たな通学路を想定している。児童・生徒に危険箇所を

認識させ、安全な通学に向けた指導を行い、自転車通学者には注意喚起の看板の設置やグリーンベルトの改修、周辺道路の整備は警察、関係機関等と協議していく。

**窪** 統合する五條中学校の周辺は道路、歩道が狭いであり、見通しも悪いが、その対策について伺う。

**教育部長** 付近の通学路、

水路の上も含め歩道の確保、また、五條小学校裏から教育委員会前までの市道の見通しが悪いことから、安全確保を関係機関に働きかけ検討していく。

**窪** 統合する宇智小学校のスクールバス操車場の安全対策について伺う。

**教育部長** 歩道と車道の間には段差を付けたり、歩行者が車道側に下りないよう横断防止策の設置、バスの操車場到着後の下校、乗車の指導や特殊な場合を除き学校までの乗用車の乗入れ禁止等安全確保に努める。

**窪** 通学路の防犯対策について伺う。

**教育部長** 防犯カメラの設置、地域の見守り活動等警察と協力し有効な対策を行う。

**窪** 子供達の通学の安全対策について伺う。

**教育長** 小・中学校の開校に向けスクールバス・自転車・徒歩による通学が増え、通学手段の環境が変わるため、通学路の点検を行い、統合までに最大の安全対策に努める。

## Q：学校適正化の進捗状況について

A：通学手段の環境が変わることから、統合までに最大の安全確保に努める。



伊谷賢司議員

## Q: スポーツ文化の振興について

A: 知恵を出し合い工夫を凝らし、市の発展につながるように取り組んでまいりたい。

### 安心・安全のまちづくりについて

**伊谷** 自主防災会について自治会毎に温度差があるが自治会での設置率、市の助成、自主防災訓練の取組を伺う。

**危機管理監** 自主防災会は、自治連合会単位で設置されており、補助金は平成30年度には23地区のうち18団体から申請があり、防災研修の実施や防災倉庫等の資機材の購入などに活用していた。また、平成30年度は8地区で避難マップの作成訓練や消防と連携した消火訓練や救急救命訓練などを実施した。

**伊谷** 前回の一般質問でマイ・タイムラインの普及を提案したが、現状を伺う。  
**危機管理監** マイ・タイムラインは避難のタイムミングを冷静に見極めるツールとして非常に有用で、広報五條10月号に作成方法を掲載、現在5地区で作成訓練を実施した。今後取組を進め

てまいりたい。

**伊谷** 自主防災会の取組の中で、今後の課題を伺う。

**危機管理監** 全ての地区の自主防災会が活発に活動できる環境づくりが現在の課題であり、訓練等の支援を行い、より連携を密にして取り組んでまいりたい。

**伊谷** 台風・水害・地震等、様々な災害が想定され、特に、南海トラフ巨大地震を想定した作成が望ましいと思うが、自治会への自主防災の提案について伺う。

**危機管理監** 自助・共助の意識を高める取組として、地域の防災マップの作成に取組み、また本年度は、4団体で避難経路・地区防災マップの作成訓練を実施した。ハザードマップの周知や危険箇所の共有、避難経路の検討や避難に支援が必要な方の確認などに有効な取組であり、今後取組を進めてまいりたい。

### スポーツ文化の振興について

**伊谷** スポーツ文化の振興を政策として取り組んでいただきたいが、インターハイ等全国大会を開催できる基準を備えたスポーツ施設の設置について伺う。

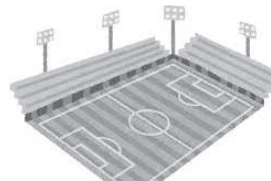
**市長** 地域体育館施設等の維持管理を行い、市民がスポーツに取り組める環境づくりを行っているが、更にスポーツ文化の振興の充実を図るため、今後の在り方について、どのような組織が有効であるか、協議を進めてまいりたい。

**伊谷** 上野公園は本当に素晴らしい、健康増進に対応したトリムコース、野球場等市内外からの利用者も多数来られるが、公共交通も踏まえた取組が必要と思われる。駐車場整備やJR五條・大和二見駅からの上野公園行バスの運行等の検討を伺う。

**市長** スポーツ文化の振興にあたり施設等のハード整備のみならず、利用者がアクセスしやすい環境である

など、一体的な環境整備も重要であると考えられる。地域公共交通網でのアクセスや、指定管理者制度導入の際には専用バスの導入など市政策の中で総合的に検討してまいりたい。

また、今後、教育委員会としっかりと連携し、知恵を出し合い工夫を凝らし、五條市の発展につながるようなスポーツ文化の振興に取り組んでまいりたい。



その他の一般質問

- 1 社会資本整備について
  - ① 先導的官民連携支援事業について
  - ② 国土交通省による河川築堤整備事業に係るかわまちづくり支援制度の登録について
- 2 入札制度について
  - ① 本市における入札の透明性及び競争性を高める取組について
- 3 本市の発展について
  - ① 北の玄関口である5万人の森公園・五條文化博物館・みどり園跡地の三位一体の拠点づくりについて